

<VI 展示研究報告(2)>

令和3年度第11回企画展
「ニットの魔法」

川本 利恵*

はじめに

令和3(2021)年9月21日(火)から10月22日(金)の期間、企画展「ニットの魔法」を開催した。

例年9月には光塩会(東京家政学院大学同窓会)との共催展を開催していたが、コロナ禍のおり、昨年に続き中止となったため、収蔵資料の中からこれまであまり展示してこなかった資料のニット作品を選択した。

なお、同期間に学芸員資格課程「博物館実習」における展示実習展(58～63ページ参照)も同時開催した。

1. タイトルの決定

ニットの資料は、平成15(2003)年に当時の館長(小林忠雄氏)の伝手で石川県金沢市のニットデザイナー中村定子氏(故人)の作品151点を遺族から寄贈されたものである。翌年には新収蔵資料披露の企画展を開催し、33点の作品を展示したがその後機会がなく、今回の公開となった。

中村氏は亡くなるまで50年近く編物に携わり自身で編物学院を設立され、短期大学や編物協会などの講師を担当されるなど活躍された方で、長年にわたって培われた高い技術と芸術的なデザインセンスをお持ちだった。

作品を選定するに当たって作品を見直すうちに、かぎ針、棒針を使った手編みや編み機を使ったものがあるなど、また毛糸は羊毛などの天然繊維、アクリルやラメ糸などの合成繊維、天然繊維と合繊繊維の混紡など多種類あり、さらに色も多種類だった。それらを駆使して生地上に花や動物、風景、建物、人物などが描かれ、さらに手編みのモチーフや他の生地を使ってアップリケを施し、実に多彩な模様ができあがっていた。それがまるで魔法のように感じられ、「ニットの魔法」というタイトルが浮かんだ。

2. 展示構成

作品は四季折々の模様や色あいが意識されているため、会期の季節から夏秋のデザインを中心に選ぶことにした。ドレス6点、ワンピース17点、ツーピース7点、オールインワン1点、チュニック1点、セーター4点の計36点と参考として編み機2点とした。

また、着用例として作品集の書籍からモデルの着用写真をパネルにして使用した。

3. 印刷物

A4判ポスター(写真1)を作成し、その裏面に資料リストを印刷した。

ポスターは大判コピー機でA1判大に印刷し、入口の扉やボードに貼り、A4・A3判で印刷したものを校内の掲示板に貼って学内者へ向けての広報とした。



写真1 ポスター

4. 展示作業

作品の展示方法を考えるに当たり、用具類の中にマネキンは数体でトルソーは子ども用が1台だけ、T字

*川本 利恵(かわもと りえ) 令和3年度生活文化博物館学芸員

台も数台とすべてを着用させることができないためハンガーを使用することに決めた。館内のものを集め自宅からも持参するなどして対応した。ノースリーブのものは木製の棒に肩ひもを掛けて吊るすことにし、また、ドレス類はより華やかさがわかるように全体像を見せたいと思い、急遽現代生活学部生活デザイン学科からトルソーを2体借用することにした。

当館には、全体がガラス張りの「大ケース」と、大ケースの高さ半分あたりから上部がガラス張りの「中ケース」、上からのぞき見る高さの「のぞきケース」、中ケースの幅半分の大きさの「柱ケース」と称する通常4種類の展示ケースがあり、それぞれに資料を振り分けていった。

入口を入って窓側に向かう壁際の大ケース2台にマネキンとT字台に着用させたロングドレス（写真2）とトルソーに着用させたドレスをそれぞれ2点ずつ入れた。窓側に沿って大ケース1台と中ケース3台を並べ、大ケースにはマネキンとT字台に着用させたワンピースとロングドレスを入れ、続く3ケースには肩紐の細いキャミソールドレスやワンピースを3点ずつ棒に通して掛けて吊るした（写真3）。そこから直角に中ケース2台を並べ、ケース内の壁面にS字のフックを取り付けてハンガーを掛けるようにし、それぞれワンピースを3点ずつ入れた（写真4）。またそこから直角に配した中ケース2台に棒に袖を通したワンピース3点、ハンガーに掛けたワンピース3点（写真5）を入れ、続く中ケース1台にはハンガーに掛けたセーター2点と平置きでセーター2点（写真6）を入れた。続いて柱ケースを2台並べ、それぞれワンピースとチュニック（写真7）を1点ずつ平置きで入れた。

次に展示室中央に柱ケース2台とのぞきケース1台を背中合わせにし、またのぞきケース2台を背中合わせにして二つの島を作った。柱ケースにはそれぞれハンガーに掛けたワンピースを入れ、のぞきケースにはワンピース1点を平置き（写真8）して入れた。残るのぞきケースにはそれぞれ参考資料として編み機（写真9）を1台ずつ入れた。その向かいの壁面には、作者の写真と略歴、着用例の写真パネル（写真10）を貼った。



写真2 ロングドレス



写真3 キャミソールドレス



写真4 ワンピース



写真5 ツーピース

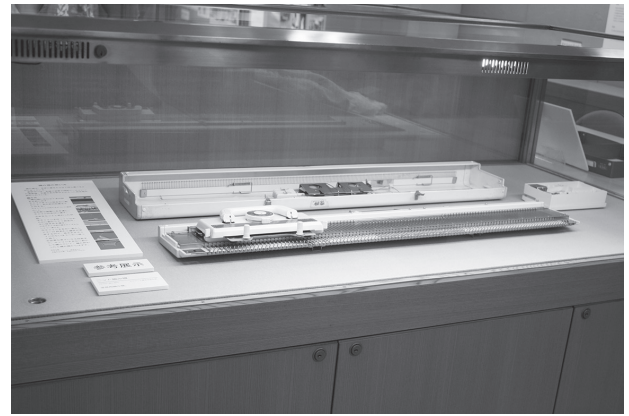


写真9 編み機

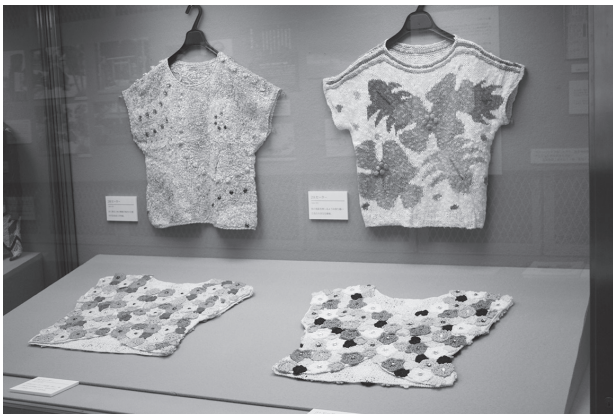


写真6 セーター



写真10 略歴・着用例写真パネル



写真7 チュニック



写真8 ツーピース

おわりに

前回の企画展は開催できたのだが、7月12日から9月30日までの期間には第4回目の緊急事態宣言が発出され、大学はその期間およびその後も1か月近く学生の入構禁止措置をとった。当初はそれにならって休館を考えたが、教職員には出勤する人もおり、また学生は許可を得れば入構できるという措置がとられたため学内のみの開館とした。

今回の展示会の展示作品の様や形は制作年代の時代の流行を感じさせるものだが、デザインセンスや技術の高さがわかるものであり、限定的な公開になってしまったことが悔やまれる。今後、機会があればまた企画を考えたい。

展示資料一覧

番号	タイトル	年代	作者・製作地
1	ロングドレス	昭和63年(1988)	中村定子
2	アンサンブルドレス	平成6年(1994)	中村定子
3	ロングドレス	1980～90年代	中村定子
4	ロングドレス	1980～90年代	中村定子
5	ツーピース	1980～90年代	中村定子
6	ロングドレス	平成12年(2000)	中村定子
7	キャミソールワンピース	昭和58年(1983)	中村定子
8	キャミソールワンピース	1980～90年代	中村定子
9	オールインワン	1980～90年代	中村定子
10	ワンピース	1980～90年代	中村定子
11	ワンピース	1980～90年代	中村定子
12	キャミソールワンピース	1980～90年代	中村定子
13	ワンピース	1980～90年代	中村定子
14	ワンピース	1980～90年代	中村定子
15	キャミソールワンピース	1980～90年代	中村定子
16	ロングドレス	昭和48年(1973)	中村定子
17	ワンピース	昭和55年(1980)	中村定子
18	ワンピース	平成6年(1994)	中村定子
19	ワンピース	平成6年(1994)	中村定子
20	ワンピース	平成6年(1994)	中村定子
21	ワンピース	平成6年(1994)	中村定子
22	ワンピース	1980～90年代	中村定子
23	ワンピース	1980～90年代	中村定子
24	ワンピース	1980～90年代	中村定子
25	ツーピース	1980～90年代	中村定子
26	ツーピース	1980～90年代	中村定子
27	ツーピース	平成2年(1990)	中村定子
28	セーター	1990年代	中村定子
29	セーター	1990年代	中村定子
30	セーター	1980～90年代	中村定子
31	セーター	1980～90年代	中村定子
32	ワンピース	1980～90年代	中村定子
33	チュニック	1980～90年代	中村定子
34	ツーピース	1980～90年代	中村定子
35	ツーピース	1980～90年代	中村定子
36	ツーピース	1980～90年代	中村定子
37	参考展示 ニット編み機	1970～80年代	中村定子
38	参考展示 ニット編み機	1970～80年代	中村定子